

## 中学部 2年生 職業・家庭科 学習指導案

日 時：令和5年11月28日（火）9：50～10：40

場 所：中学部多目的室

指導者：栗津 綾乃（T1）加藤 智美（T2）

### 1 単元名 中学部と高等部の違いについて ～今の自分にできること～

## 2 生徒と単元

### (1) 生徒について

本学年は男子10名、女子2名の12名である。うち1名は補聴器を使用しており、発音が不明瞭で聞き取りにくい、全員が言葉で気持ちや意思を伝えることができる。書くことに関しては、自分の気持ちを文章で表すことができる生徒、書きたいことを教師が質問してまとめた回答を視写する生徒、書くことに苦手意識がある生徒など様々である。これまでの学習場面では、3名程度の小グループで学習を行い、生徒同士で話し合いを進めたり、助け合ったりしながら活動する様子が見られるようになった。また、その日の心身の状態で、学習に向かうことが難しい生徒もいるが、同じ流れで繰り返し学習することで、活動内容に見通しをもって学習に向かうようになってきた。また、挨拶や返事、話の聞き方など学習に向かう姿勢、言葉遣いなどに関しては知識として理解しているが、それを日常生活で実践するまでには至っていない。

将来については、「未来へのスケッチ」（キャリアパスポート）の作成を通して自分の目標や将来なりたい夢や職業を記入し、少しずつではあるが、自分が頑張ることや、やるべきことに結び付けて考えられるようになってきている。

### (2) 単元について

昨年度は生活単元学習の「ロード to 社会人」の単元で高等部や就労継続支援B型の福祉事業所の見学、衣服の手入れや調理実習を行った。今年度は、職業や進路学習について年間を通して高等部とのつながりを考えた学習内容を展開して、計画的に指導している。家庭分野では調理や洗濯を中心に行った。職業分野では、1学期の作業学習週間（I期パワーアップ週間）の後に高等部の校内実習の様子を見学したり、自分の進路について考え、「未来へのスケッチ」を作成したりしている。

本単元では、自分たちに身近な高等部の作業学習や校内実習の様子を見学したり、高等部主事や進路指導主事の話の聞いたりして、中学部と高等部の違いについてまとめ、自分の目標を考える。小グループで学習を進めることで、友達と関わり相手の意見を認めたり、自分の意見を伝えたりする場面をもち、互いの意見を取り入れながら学んだことをグループごとにまとめる。そして、まとめたことを基に今の自分にできることを考える。

高等部ではどのような態度や言葉遣い、姿勢で学習しているかに注目することで、今の自分の生活態度や言葉遣いとの違いに気づき、自分が理想とする高等部生になるために何が必要か考える機会にしたい。また、それらの活動を通して、日頃の自分を見つめ直し、今の自分にできることや頑張りたいことなどを考え、目標をもち日常生活をよりよくしていこうとする姿を期待したい。さらに、自分の目標や夢に向かって努力することの大切さや、自分を振り返る機会を設定することで、日々の生活態度を意識しながら過ごしたり目標をもって高等部に向かおうとしたりする姿につながると考える。以上のことから本単元を設定した。

### (3) 指導に当たって

- ・生徒が集中して学習に向かえるように、席順やグループ学習の配置を決める。
- ・文字を書くことが苦手な、字間を取りづらい生徒がいるため、選択肢を用意して答えられるようにしたり、罫線を付けたりするなど実態に合わせたワークシートを準備する。
- ・できるだけ生徒同士がやり取りをして活動できるように見守り、生徒から依頼があった際は要点を伝えたり、自分たちで考えられるような発問などをしたりする。
- ・見学の様子や高等部の教師の話の振り返ることができるように、動画が入ったタブレットを準備する。
- ・学習の約束を文字で提示し、適切な言葉遣いや話し方・聞き方などにその都度気付くような言葉掛けをする。
- ・高等部見学の学習場所や、グループでの学習内容によっては教師が生徒の仲立ちができたりするように、教師の人数を変更する。
- ・日常生活に生かしていけるように、個人で決めた自分の目標を「未来へのスケッチ」に反映させる。

### 3 目標

- (1) 高等部の見学などから高等部と中学部の学習の違いが分かり、ワークシートや模造紙にまとめる。  
【知識及び技能】
- (2) 高等部生の学習態度から今の自分の姿に気付き、高等部進学に向けて今の自分に何ができるのかを考える。  
【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 挨拶・返事や言葉遣い、学習に向かう姿勢などこれからの日常生活に生かそうとする。  
【学びに向かう力、人間性等】

### 4 目標に対する評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 高等部見学から高等部と中学部の学習内容や学習に向かう態度の違いに気付き、自分の考えをまとめることができたか。	① 高等部の作業学習、校内実習見学や教師の話から学習に向かう姿勢に気付き、今の自分にできることが分かったか。	① 今の自分にできることを日常生活に生かそうとしているか。

### 5 単元計画（総時数35 本時34／35時間）

時数	学習内容	評価の観点			主なねらい
		知	思	主	
6	<b>高等部作業学習の見学について</b> ・これからの学習 ・高等部作業学習見学 ・事前・事後学習	①	①		・高等部作業学習の様子や作業班の先輩に質問したことから大事なことが分かり、メモしたり動画撮影したりする。 ・質問したことや学習内容や様子をグループでまとめてワークシート記入する。
4	<b>高等部主事の話と高等部見学について</b> ・高等部主事の講話と見学 ・事前・事後学習	①	①		・講話を聞きながら、気付いたことをメモしたり覚えたりする。 ・質問したことや学習の様子をグループでまとめてワークシートに記入する。
2	<b>パワーアップ週間について</b> ・パワーアップ週間のねらいと目標		①	①	・高等部の学習の様子を振り返り、中学部作業学習5箇条の内容が分かる。
12	<b>高等部校内実習の見学について</b> ・話を聞く際の約束と質問事項の確認 ・進路指導主事の話 ・進路指導主事の話の振り返り ・高等部校内実習見学の事前学習 ・高等部校内実習の見学 ・高等部校内実習見学の振り返り	①	①		・校内実習の内容や実習に向かう態度など気付いたことをメモしたり動画撮影したりする。 ・中学部のパワーアップ週間との違いに気付き、ワークシートに記入する。
11 本時 〔10 ／ 11〕	<b>これからの自分について</b> ・高等部生の学習に向かう姿勢や態度について考える ・考えたことや気付いたことをグループごとにまとめる ・まとめたことの発表 ・今の自分とこれからの自分 ・一人一人の発表	①	①	①	・自分の作業の様子とこれまでの高等部見学等の学習の様子を比べ、グループで話し合っって中学部と高等部の違いに気付く。 ・まとめたことを参考に自分のこれからの生活についての目標を決める。

## 6 本時の計画

### (1) 全体の目標

- ・高等部と中学部の学習に向かう態度や姿勢の違いが分かり、今の自分にできることを決める。

【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】

### (2) 生徒の実態と目指す姿

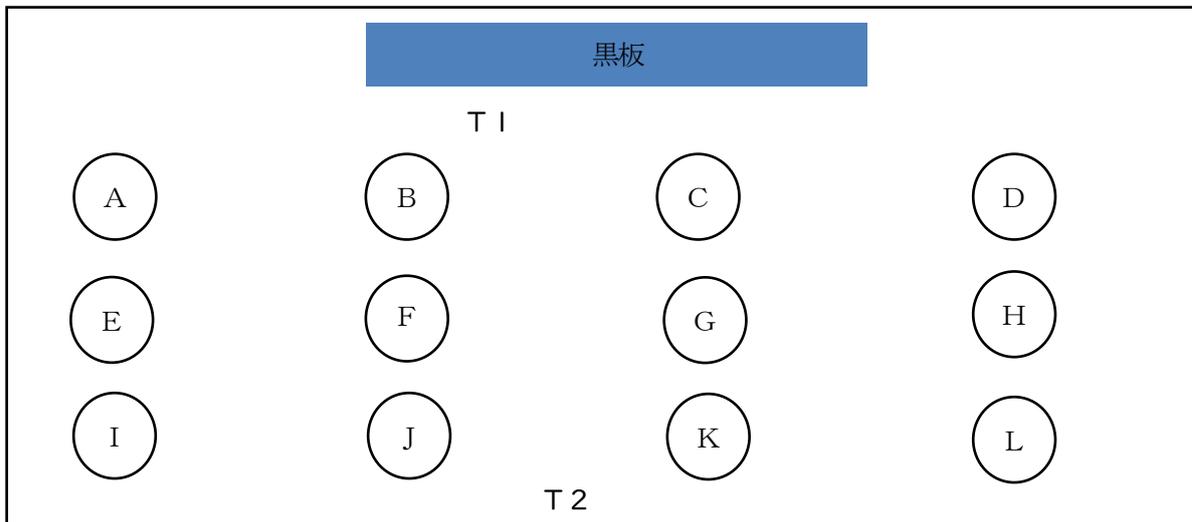
生徒	実態	単元（題材）を通して目指す姿
A	・友達や教師と関わることを好み、積極的に話し掛け、不適切な関わりをしてしまうことがある。学習活動など見通しをもつことで時間いっぱい学習に向かうようになってきた。	・高等部の見学をとおして、丁寧な言葉遣いや優しい言葉掛けをすることに気付く。
B	・聞こえにくさに加え、言葉の理解の曖昧さもあり、指示や質問を理解できていないことが多いが、周囲の様子を見て積極的に活動する。助詞の使い方や表記に間違いがあるが、自分の思いを伝えたい気持ちは強い。	・教師の問い掛けをヒントに高等部生の作業態度と自分の生活態度や作業態度を比較し、レベルアップが必要なことを考える。
C	・全体に向けた話を聞くことは苦手だが、視覚的に示すことで理解する。漢字の読み書きが苦手で、内容についても自分が納得するまで書き始めないことが多いため、書字には時間が掛かる。	・見聞きする活動を通して理想とする先輩の姿を思い浮かべ、同じように自分でもやってみようとする。
D	・友達や教師が話していると、思ったことをすぐに話してしまう。また、感情的になりやすく、適切な言動は分かっているが、実行することが難しいことがある。タブレットを使った学習を好み、動画編集や調べ学習を積極的に行う。	・自分の学習の様子と高等部の学習の様子を見比べて、これから日常生活で気を付けることに気付き、具体的にどのように生活していくかを考える。
E	・思いついたことや気になったことなどをすぐに口にすることが多い。集団行動が苦手で、開始時刻に遅れたり、トイレに行ったりすることがある。日々の生活には結び付けることは難しいが、望ましい行動は知っている。	・高等部生の様子や主事の話と自分の生活態度や作業態度を比較し、自分の課題に気付き、中学部で頑張るべきことを考える。
F	・生活習慣の乱れがあり、座学が長引くと居眠りをしてしまうことがある。ポイントを絞って物事を伝えたり、動画で振り返ったりすることで感じたことや考えたことを発表できる。	・高等部生の姿を見て、自分たちの学習へ向かう姿勢や学習内容の違いに気付き、自分の課題や今、頑張っておきたいことを考え、具体的にどうするかを考える。
G	・友達の様子をよく見ており、望ましい友達同士のやりとりの在り方や学習への取り組み方を「〇〇するといいいよ」など言葉を掛けることが増えている。その反面、思い込みで友達との関係性に悩むこともある。	・高等部への憧れをもち、理想とする先輩を見付け、自分の理想像を考えたり、そのために必要な力、課題を考えたりして日常生活で実践する。

H	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を集中して聞くことが難しく、全体指示では伝わらないことが多い。やや時間は掛かるが、自分の考えをまとめて書くことができる。タブレットの操作は得意である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部生の作業態度や学習に向かう姿勢と自分の生活を比較し、自分の課題を探し、頑張ることを具体的に考える。</li> </ul>
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力がなく疲れやすいため、集中を持続させることが難しいことがある。小グループで学習することで、自分の考えを相手に伝える。書字は苦手だが、タブレットで漢字を調べて書くようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活を見直し、規則正しい生活の大切さを知る。</li> </ul>
J	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見はあるが、自信がなく自分から言葉にするのが難しい。慣れた教師からの質問にははっきりと応えたり、選択肢から選んで気持ちを伝えたりする。憧れの歌手への思いがあり、身だしなみを整えることに抵抗がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部生を見て自分の身だしなみの在り方や普段の生活で取り入れたい行動を考える。</li> </ul>
K	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての学習に苦手意識をもち、受け身になったり、できないことを訴えたりする。苦手な活動や人との関わりで、不適切な言葉を話してしまうこともある。得意なことに関しては積極的に活動したり、発表したりする。困っている友達にやり方を教えることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等部の見学をとおして、どんな高等部生になりたいかを考えて、今の自分に必要なことを具体的に考える。</li> </ul>
L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちの高揚が激しく個別対応が必要な場面もあるが、職業・家庭科の授業には比較的熱心に向かっている。学習事項を生活に生かそうと「食事をとることをがんばる」と話し、給食を食べるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が憧れる高等部生の姿を見て、望ましい生徒像について考える機会として、今の自分が頑張るポイントを知る。</li> </ul>

(3) 学習過程

時間	学習活動 めあて 振り返り	指導上の留意点等 ・教師の支援 ○予想される児童(生徒)の反応 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価基準</span>
10分	1 本時の学習、めあてを知る。  <b>めあて 素敵な高等部生を目指して、自分にできることは何か考える。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の相性等を考慮して、座席の配置を決める。</li> <li>・めあての内容を具体的に伝える。</li> <li>・前時に学習したことを思い出せるように、質問形式で生徒とやり取りをする。</li> <li>○自信のある生徒は挙手するなど、前時のことを思い出しながらグループでまとめたキーワードを話す。</li> </ul>
35分	2 自分の目標を考えてワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを記入できるように、生徒の実態に合わせ答えの選択肢肢を示したり、マスや罫線を付けたりしたワークシートを準備する。</li> <li>・高等部生の学習に向かう姿勢や態度と自分を比べて、これからの目標を書くことができるように、各自のタブレットに高等部生の学習に向かう姿勢や態度などをグループでまとめた用紙や動画を入れて見られるようにする。</li> <li>・具体的な目標を立てることができるように、生徒の実態に合わせて質問内容を具体的にするなどワークシートの文章の書き方を変える。</li> <li>・T2は生徒のタブレットの操作補助をしたり、ワークシートの記入が難しい生徒へ考えを促す発問をしたりする。</li> <li>○活動の始めは周りと話をしたり、教師に質問したりするが、一人で考えてワークシートに記入する。</li> </ul>
5分	3 発表し、振り返りをする。  <b>振り返り 高等部の見学やまとめたことを基に自分の目標を考えた。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静かに聞くことができるように、提示している学習のルールを生徒と一緒に読む。</li> <li>・本時は3名の発表にし、他の生徒は次時で発表することを伝える。</li> <li>○発表内容に共感したり、新たに気付いたりする発言がある。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>評価基準</b> グループでまとめたことや自分の学習の様子から今の自分にできることを決めることができたか。 <b>【発言、振り返りシート】</b></p> </div>

(4) 配置図

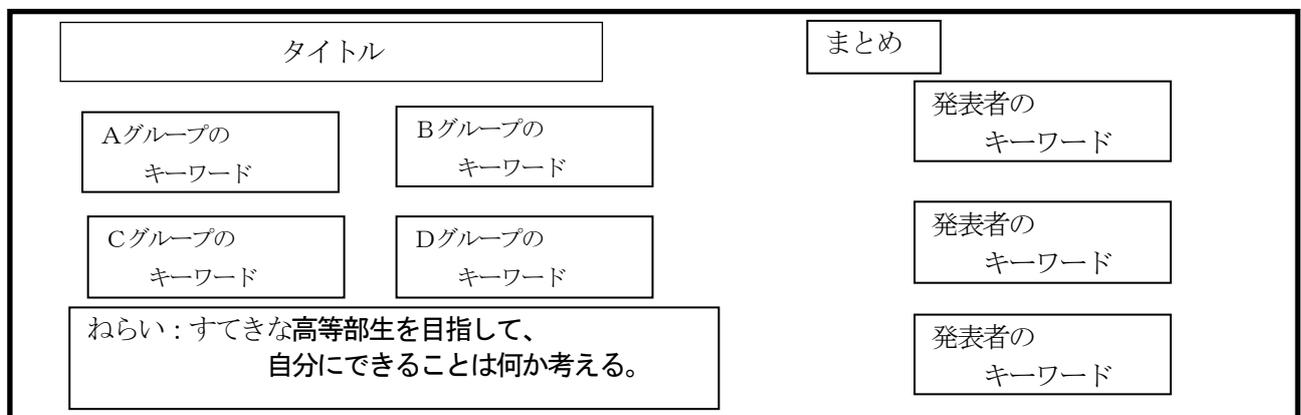


本時の個人目標（○目標、→手立て）

A	○動画を見てこれから頑張ることに気付き、選択肢から選んだり、考えたことをワークシートに書いたりする。 →自分の様子に気付いたり、頑張ることを考えたりできるようにポイントを絞った動画や写真、グループでまとめたものをタブレットで見ることができるようにする。
B	○頑張りたいことを選択肢から選んでワークシートに書いたりキーワードを話したりする。 →自分で考えたことを記入できるように、教師と一緒に動画やグループでまとめたものを見ながらポイントを伝える。
C	○キーワードやタブレットをヒントにして、大切だと感じたことを文章でまとめる。 →自分で考えたことを記入できるように、動画やグループでまとめたポイントを伝える。
D	○自分の学習の様子やまとめたことを振り返り、具体的に自分にできることを書く。 →自分で考えてワークシートに記入できるように、参考にする資料のポイントを伝える。
E	○自分の課題に向き合い、これまでのワークシートをもとにできそうなことを考える。 →これから頑張ることを考えられるように、自分の学習の様子や動画や参考にする資料のポイントを伝える。
F	○これまでの学習を振り返り、今の自分と比較して課題を考え、取りかかれる内容を書く。 →これから頑張ることを考えられるように、自分の学習の様子や動画や参考にする資料のポイントを伝える。
G	○これまでの学習を振り返り、自分の課題に気づき、頑張ることを具体的に書く。 →自分で考えたことを記入できるように、動画やグループでまとめたポイントを伝える。
H	○これまでのワークシートやタブレットを見ながら自分の言葉で目標を書く。 →目標を考えられるように、自分の学習の様子や高等部の学習の様子についてまとめたポイントを伝える。
I	○これまでの学習を思い出して、自分が頑張りたいと思っていることを言葉にして話す。 →頑張りたいことを考えられるように、タブレットを見ながら選択できる項目を入れたワークシートを準備したり、教師がキーワードを伝えたりする。
J	○タブレットの内容や選択肢を参考にして、自分の頑張ることを考える。 →頑張りたいことを考えられるように、タブレットを見ながら選択できる項目を入れたワークシートを準備したり、教師がキーワードを伝えたりする。
K	○グループでまとめたことや動画を基に、具体的に自分にできることを書く。 →自分で考えてワークシートに記入できるように、参考にする資料のポイントを伝える。
L	○これまで学んだことを自分の言葉でまとめ、頑張るポイントをプリントに記入する。 →自分で考えてワークシートに記入できるように、参考にする資料のポイントを伝える。

(5) 板書計画

正面黑板



ホワイトボード

